

# 株主の皆様へ

第96期中間事業報告書

平成13年4月1日から平成13年9月30日まで

To Our Stockholders

The essentials of imaging



MINOLTA

ミノルタ株式会社

The essentials of imaging

[www.minolta.com](http://www.minolta.com)

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。ここに当社第96期中間期(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)の営業概況についてご報告申し上げます。

#### 当社をとりまく経営環境と営業概況

当中間期の経済環境は、海外ではITバブルの崩壊に端を発して米国の景気が減速し、設備投資の抑制や大幅な在庫調整の局面を迎えています。比較的堅調であった欧州、アジア経済にもこの影響が暗い影を落とすつつあります。

また、同時多発テロにより、期待されていた米国の景気回復が大幅に遅れることがほぼ決定的な状況になっています。一方、国内では依然として景気回復の兆候すら見られず、景況感はさらに悪化する事態となっています。加えて、高い失業率に代表される雇用不安や所得の減少により、消費は低迷を続けています。

このような経済環境の中で、当社は、高度情報化、デジタル化社会を見据えた事業構造転換に注力すると共に、デジタル製品への資源集中を加速させました。

情報機器事業では、デジタル複写機中速機市場において、主力機種となる「Di251/351」の投入により「DiALTA」シリーズのラインアップのさらなる強化を果たすと共に、デジタルフルカラー複写機市場において、前期に投入した「CF2001/1501」によるカラー出力の魅力を顧客に提供することにより販売促進に注力いたしました。また、プリンタ関連では、コストダウンを図るためにコントローラ組立を中国工場へ移管し、戦略機種であるカラーレーザープリンタ「magicolor 2200」シリーズを中心に販売拡大に積極的に取り組みました。しかし、市況の悪化、競争の激化により、情報機器事業の売上高は972億6千6百万円、前年同期比0.9%の減収となりました。

光学機器事業では、有効画素数5.0百万画素CCD、光学7倍ズームを搭載した「DiIMAGE(ディマージュ)7」を頂点とする新「DiIMAGE」シリーズ5機種の順次発売により、デジタルカメラ市場に本格参入し、売上の拡大に取り組みました。

一方、好評を博したAF一眼レフカメラ「-Sweet」の後継機種として「-Sweet」と交換レンズ2本及びアクセサリー群を発売し、フィルムカメラ市場での売上の維持拡大に努めました。光システム分野では、デジタルプロジェクタやデジタルミニラボ用光学ユニットの事業とハードディスク用ガラス基板事業を中心に売上に貢献いたしました。計測機器分野では、新製品「黄疸計JM-103」を発売すると同時に、分光測色計、3次元デジタイザの販売拡大に努めました。しかし、市況の悪化及び消費意欲縮小の影響により、光学機器事業の売上高は前年同期比6.1%減収の375億1千6百万円となりました。

以上の結果、当中間期の売上高は、1,347億8千2百万円と前年同期比

2.4%の減収となりました。うち輸出は、前年同期比3.6%減の1,094億1千6百万円となっております。経常利益は、販売費及び一般管理費の増加、競争激化による価格の低下、棚卸資産の評価損及び処分損の計上などにより、47億9千8百万円の損失となりました。また、中間純利益は、株価下落による投資有価証券評価損、販売子会社株式評価損・債権償却損などの計上により、249億2千3百万円の損失となりました。

連結決算につきましては、当中間期売上高は前年同期比8.4%増収の2,415億9千6百万円となり、経常利益は121億4千5百万円の損失、また、中間純利益は227億2千8百万円の損失となりました。

以上のような状況から中間配当金につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせて頂きました。株主の皆様のご期待にはそい得ない結果となりましたこと、深くお詫び申し上げます。

### 今後の見通しと課題

今後の経済環境は、米国においては、同時多発テロの影響もあって個人消費の減速が鮮明となり、設備投資も企業収益の伸び悩みなどにより鈍化すると見込まれます。欧州についても、その影響から景気回復の遅れが懸念されます。また国内は、欧米と同様に景況感の改善が見られず、米国景気悪化による輸出の減速、生産の伸び悩みが予想されます。当社グループの事業領域である複写機・プリンタ・カメラにおいても、欧米での景気減速による在庫調整の影響を受け、引き続き厳しい事業環境となる見通しです。このような環境のもと、当社グループは人員削減等の構造改革を一層加速し、また自らのパワーを戦略事業へ集中し、売上、利益とも伸ばすべく全力をあげて取り組んでいく所存です。具体的には、カラープリンタ・カラーMFP(複合機)を重点戦略分野とし、カラー市場での売上拡大に引き続き努めると共に、収益基盤であるモノクロMFP・モノクロプリンタ分野については、さらなる収益力の向上を図り、また、将来に向けて新しいデジタル画像入出力分野を確立してまいります。

期末配当金につきましては、当社を取り巻く厳しい経営環境及び通期の業績見通しを勘案しまして、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせて頂きたく予定でございます。早期復配を喫緊の課題といたしまして、今後ともより一層の事業構造の改革に取り組み、利益水準の向上を図ってまいります。

株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

取締役社長

太田義勝



## 単 独 決 算 (百万円未満切り捨て)

## 貸借対照表

単位：百万円

科 目	当中間期 (平成13年9月30日)	前 期 (平成13年3月31日)
流 動 資 産	149,383	160,592
固 定 資 産	130,004	151,721
資 産 合 計	<b>279,387</b>	<b>312,314</b>
流 動 負 債	139,992	147,469
固 定 負 債	67,296	64,249
負 債 合 計	<b>207,289</b>	<b>211,719</b>
資 本 金	25,832	25,832
法 定 準 備 金	53,723	53,638
剰 余 金	4,724	21,124
その他有価証券評価差額金	2,732	
資 本 合 計	<b>72,098</b>	<b>100,595</b>
負 債 及 び 資 本 合 計	<b>279,387</b>	<b>312,314</b>

## 損益計算書

単位：百万円

科 目	当中間期 (平成13年4月1日～9月30日)	前中間期 (平成12年4月1日～9月30日)
売 上 高	134,782	138,130
売 上 原 価	106,354	106,849
販売費及び一般管理費	27,849	25,914
営 業 利 益	<b>579</b>	<b>5,366</b>
営 業 外 収 益	1,595	2,376
営 業 外 費 用	6,973	3,850
経 常 利 益	<b>4,798</b>	<b>3,893</b>
特 別 利 益	325	885
特 別 損 失	22,413	1,495
税引前中間純利益	<b>26,886</b>	<b>3,282</b>
法人税、住民税及び事業税	133	2,336
法人税等調整額	2,096	971
中 間 純 利 益	<b>24,923</b>	<b>1,917</b>
前 期 繰 越 利 益	<b>5,654</b>	<b>5,024</b>
中 間 未 処 分 利 益	<b>19,268</b>	<b>6,941</b>

(会計監査人の商号変更のお知らせ)

当社の会計監査人太田昭和センチュリーは、平成13年7月1日をもって「新日本監査法人」に商号変更いたしました。

# 連 結 決 算 (百万円未満切り捨て)

貸借対照表

単位：百万円

科 目	当中間期 (平成13年9月30日)	前 期 (平成13年3月31日)
流 動 資 産	268,535	293,523
固 定 資 産	152,412	162,727
資 産 合 計	<b>420,948</b>	<b>456,250</b>
流 動 負 債	282,701	293,963
固 定 負 債	91,882	89,875
負 債 合 計	<b>374,583</b>	<b>383,839</b>
少 数 株 主 持 分	<b>1,703</b>	<b>1,217</b>
資 本 金	25,832	25,832
資 本 準 備 金	51,198	51,198
連 結 剰 余 金	21,527	1,897
その他有価証券評価差額金	2,719	
為 替 換 算 調 整 勘 定	8,121	7,733
資 本 合 計	<b>44,661</b>	<b>71,194</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	<b>420,948</b>	<b>456,250</b>

損益計算書

単位：百万円

科 目	当中間期 (平成13年4月1日～9月30日)	前中間期 (平成12年4月1日～9月30日)
売 上 高	241,596	222,882
売 上 原 価	141,997	123,168
売 上 総 利 益	<b>99,599</b>	<b>99,714</b>
販売費及び一般管理費	102,531	91,296
営 業 利 益	<b>2,932</b>	<b>8,417</b>
営 業 外 収 益	2,445	2,864
営 業 外 費 用	11,658	7,229
経 常 利 益	<b>12,145</b>	<b>4,053</b>
特 別 利 益	420	742
特 別 損 失	9,857	1,139
税金等調整前中間純利益	<b>21,583</b>	<b>3,656</b>
法人税、住民税及び事業税	875	3,065
法 人 税 等 調 整 額	405	622
少 数 株 主 損 失	136	322
中 間 純 利 益	<b>22,728</b>	<b>1,536</b>

## 情報機器

DiALTA<sup>®</sup>(ディアルタ)<sup>1</sup>シリーズより2機種発売

高速デジタル複写機「DiALTA<sup>®</sup>(ディアルタ)Di650」  
 毎分65枚の高速出力と高度なフィニッシングが可能であり、高画質を実現する重合法トナー<sup>2</sup>を採用したデジタル複写機です。



- 1: DiALTA<sup>®</sup>(ディアルタ)は、Digital intelligence(英語)+Lealta(イタリア語:正確な)の造語で、ミルタ株式会社のモノクロデジタル複合機/複写機の愛称であり、登録商標です。
- 2: 重合法トナーは、従来のトナーに比べ、製造段階で使用するエネルギーが少なく、紙への転写効率に優れ、出力画像の高画質化が可能です。

## A3サイズ・デジタル複写機

「DiALTA<sup>®</sup>(ディアルタ)<sup>1</sup>Di152」

簡単操作、600dpiの高画質、コンパクト設計のA3デジタル複写機です。インナー排紙によりコンパクトなボディを実現しており、オフィスの省スペース化に貢献。価格面では従来のアナログ機なみの低価格を実現しました。



高速出力・ネットワーク標準対応の  
デスクトップ・レーザプリンタ3機種発売  
(ミノルタ・キューエムエス株式会社より発売)

カラーレーザプリンタの「magicolor<sup>®</sup> 2210 Print System」及び「magicolor<sup>®</sup> 6110 Print System」は、強力なネットワーク対応能力を持つ新プリンタ・アーキテクチャ「Crown」を搭載。高速CPUとPostScript3 対応により、テキスト文書からグラフィックデータまで様々なドキュメント環境をカバーし、高画質・高速出力を実現します。また、モノクロレーザプリンタ「4032 Print System」は、高速CPU・プリンタエンジンを搭載。優れたペーパーハンドリング機能により、40枚/分の高速出力と生産性を高めた大量ドキュメント作成が可能です。



**magicolor 2210 Print System**  
ネットワーク標準A4対応高速(フルカラー毎分5枚/モノクロ毎分20枚)・高画質デスクトップ・カラーレーザプリンタ



**magicolor 6110 Print System**  
ネットワーク標準対応A3ワイド・デスクトップ・カラーレーザプリンタ



**4032 Print System**  
高速処理・ネットワーク標準対応のミドルレンジモノクロPS2レーザプリンタ

magicolorはミノルタ株式会社の登録商標です。  
PostScriptは、アドビシステムズ社の登録商標です。

## 光学機器

デジタルカメラ「DiIMAGE®(ディマージュ)」シリーズ4機種を発売  
デジタルカメラ市場に本格参入

国内では6月より発売の「DiIMAGE 7」に加え、さらに4機種のデジタルカメラを投入し、多様化するお客様の要求に応えてまいります。

**DiIMAGE® 5**

有効画素数3.2百万画素、広角35mmから望遠250mm(35mmフィルム換算)の大口径光学7倍ズームを搭載したレンズ一体型の一眼レフタイプデジタルカメラ

**DiIMAGE® S304**

有効画素数3.2百万画素、広角35mmから望遠140mm(35mmフィルム換算)の光学4倍ズームを搭載した快速・簡単・快適操作のデジタルカメラ

**DiIMAGE® E203**

有効画素数2.0百万画素、広角35mmから望遠105mm(35mmフィルム換算)の光学3倍ズームを搭載し動画も撮影できる小型・軽量ボディのデジタルカメラ

**DiIMAGE® E201**

有効画素数2.2百万画素、部分拡大や大判サイズでの出力にも充分応える高画質を実現したデジタルカメラ



DiIMAGE®(ディマージュ)は、ミルタ株式会社の登録商標です。



世界最小・最軽量<sup>1</sup>、クラス最速<sup>2</sup>のAFシステムを搭載した、オートフォーカス一眼レフカメラ「**EOS Kiss X70-Sweet(スウィート)**」を発売。初心者にも安心して扱え、快適に操作していただけるコンパクトなAF一眼レフカメラです。世界最小・最軽量<sup>1</sup>を達成しながら、昨年発売した「**EOS Kiss X70**」の思想・技術を受け継ぎ、上級者のニーズにも充分応えうる機能・性能を盛り込みました。

- 1:35mmレンズ交換式フラッシュ内蔵AF一眼レフカメラにおいて(平成13年11月1日現在)
- 2:希望小売価格7万円未満の35mmレンズ交換式AF一眼レフカメラにおいて(平成13年11月1日現在当社試験条件による)



### 新生児黄疸の検査結果が瞬時に得られる簡単操作とコンパクト仕様 「**黄疸計JM-103**」を発売

採血することなく、新生児黄疸スクリーニング(選別・検診)が数秒の簡単操作で出来るコンパクト仕様。



35mm一眼レフカメラ「DYNAX 7」(国内名称「-7」)が  
“世界3大カメラ賞”を完全制覇

カメラグランプリ2001受賞

毎年、日本国内で発表されたスチルカメラの中からもっとも優れたカメラ  
一機種に対して贈られる賞

TIPAヨーロッパ、ベスト一眼レフカメラ2001～2002受賞

欧州13カ国、32誌のカメラ・ビデオ専門誌による年間最優秀製品に贈られる賞

EISAヨーロッパ・カメラ・オブ・ザ・  
イヤー2001～2002受賞

欧州20カ国のカメラ・ビデオ専門誌40誌に  
よる年間最優秀製品に贈られる賞



デジタルカメラ「DiMAGE<sup>®</sup>(ディマージュ)7」も  
TIPAヨーロッパの“Best Digital Prosumer Camera”を受賞



Prosumerとはプロ仕様の  
製品の購入者の意味

5品目が2001年度グッドデザイン賞受賞(財団法人日本産業デザイン振興会)

高速デジタルフルカラー複写機「DiALTA Color CF2001」

カラーレーザプリンタ「magicolor 2200 DeskLaser」

一眼レフタイプ デジタルカメラ「DiMAGE 7」

AF一眼レフカメラ「-Sweet (AFズーム28-80mm F3.5-5.6(D)シルバー付)」

双眼鏡「ACTIVA コンパクト/ズームFMシリーズ」



DiALTA Color CF2001



magicolor 2200 DeskLaser



DiMAGE 7



ACTIVA コンパクト/  
ズームFMシリーズ



-Sweet

## 光学部品製造の合併会社を中国に設立

中国でのコンパクトカメラの一貫生産体制を確立するため、カメラなどの光学部品の製造、光学ユニットの組み立てを目的とした、中国企業との合併会社 上海美能達精密光学有限公司を本年9月に設立しました。製品のコスト競争力を強化し、生産プロセスにおける連携作業を効率よく行い、品質の向上・生産期間の短縮を図ることを目指します。

## 小型ズームレンズユニットを開発

新開発のマイクロアクチュエータ(微小駆動装置)と両面非球面レンズの組み合わせにより、携帯電話や携帯端末に搭載可能な小型ズームレンズユニットを開発しました。従来のモーター駆動方式では必須だったギアなどの伝達機構が不要となり、その結果

大幅な軽量コンパクト化を実現、厚みは最高で12mmまで抑えることが可能。

レンズの位置精度をナノメートル( $10^{-9}$ m)単位で制御可能。

無音(サイレント)駆動を達成。さらに、駆動電圧を携帯電話に最適な3Vにまで低電圧化しています。

今後需要拡大が予想される次世代携帯機器の画像入力用デバイスへの適用を想定し、実用化へ向けて検討を行ってまいります。



写真は1円硬貨との比較

### インターネットメールマガジン「ミノルタeフォトマガジン」発行のご案内

お客様にフォトライフをもっと楽しんで頂くために、「写真」「画像」を中心とした各種カメラについての撮影・応用テクニックや撮影ポイント・製品の開発話等をEメールで配信するサービスです。購読料は無料です。

登録方法：メールマガジンホームページURLより登録できます。

<http://www.minolta-sales.co.jp/navigation/index.html>

ミノルタ株式会社のホームページからもアクセスできます。

### ホームページのご案内

当社では、インターネット上にホームページを開設し、最新の当社情報を紹介しております。ぜひご覧ください。

日本語 <http://www.minolta.co.jp/>

ワールドワイドネットワーク <http://www.minolta.com/>

### ミノルタの総合案内窓口「お客様ご案内窓口」

当社製品に関する各種お問い合わせのご案内やご意見ご要望などをお受けする窓口です。

☎電話番号 フリーダイヤル 0120-162414(色によいよ)

ダイヤルイン 03-5423-7589 FAX 03-5423-7565

↑ 携帯電話・PHSをご使用の場合はこちらをご利用ください。

🕒営業時間 9:30～17:30(土・日・祝日は定休日) 📦対応製品 当社が国内で扱う全製品

## ■ 会社概況 (平成13年9月30日現在)

本 社 〒541-8556 大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル  
東京支社 〒108-8608 東京都港区高輪二丁目19番13号 NS高輪ビル  
従 業 員 4,716名  
発行済株式総数 280,207,681株  
株 主 数 29,808名

## ■ 取締役、監査役及び執行役員

### 取 締 役

取締役社長 太田 義勝  
取 締 役 東山 善彦  
取 締 役 田嶋 紀雄  
取 締 役 清水 紀克  
取 締 役 井上 雅善  
取 締 役 藤井 博  
取 締 役 石原 俊昭  
取 締 役 河野 盾臣  
取 締 役 武木田 義祐  
取 締 役 本藤 正則  
取 締 役 大場 勝

### 監 査 役

常勤監査役 納谷 幹夫  
常勤監査役 河野 明雄  
監 査 役 大野 一成  
監 査 役 春名 公雄

### 執行役員

執行役員 木佐貫 徹  
執行役員 関 誠之  
執行役員 板東 正男  
執行役員 古川 博  
執行役員 石河 宏  
執行役員 大浦 三治  
執行役員 得丸 祥  
執行役員 木谷 彰男  
執行役員 岡村 秀樹

コーポレートガバナンスを重視する経営を推進するため、本年10月1日付で取締役の序列(専務、常務)を廃止致しました。

上記取締役11名は執行役員を兼務しております。

監査役 大野一成・春名公雄の両氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

## ■ 株主メモ

- ・ 決算期 3月31日
- ・ 定時株主総会権利行使株主及び利益配当金支払株主確定日 3月31日
- ・ 中間配当金支払株主確定日 9月30日
- ・ 名義書換代理人 東洋信託銀行株式会社
- ・ 同 事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 東洋信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 (お問い合わせ先) TEL(06)6229-3011(代表)
- ・ 同 取次所 東洋信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、

次の東洋信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

TEL(通話料無料)

インターネットホームページ

0120-24-4479(本店証券代行部)

<http://www.toyotrustbank.co.jp/>

0120-68-4479(大阪支店証券代行部)

- ・ 公告掲載新聞 日本経済新聞

## 商法改正に関するお知らせ

当社は、1単位1,000株としておりましたが、商法改正により単位株制度が終結したことに伴い、10月1日から1単元1,000株としました。なお、1単元未満(1,000株未満)の株式については、従来どおり買取請求することができます。

当社の株式は1株の額面金額を50円としていましたが、10月1日から額面株式の制度が廃止されました。なお、現在ご所有の株券(1株の額面金額50円と記載)は、従来どおり証券取引所において流通いたしますので、株券お引き換えの手続きは一切ご不要でございます。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています



環境に優しい大豆油インキで印刷しています